

# WAWA!



No.23



## 勝者と敗者

今年度から安芸教区少年連盟委員長を務めます賀茂東組 正覚寺 久保田城郷です。どうぞよろしくお願いいたします。

私のお寺の日曜学校では、小学生の高学年になると、習い事や、行事で来られなくなります。ですから、保育園の子も募集しましたら、うれしいことに十数名増えることになりました。しかし、人口過疎のわが町でいつまで続けていけるか、不安に感じております。

さて、子どもたちは夏休みに入り、法中行事のサマースクールに参加しました。寺町のお寺さんで仏参と平和学習をし、その後、マツダスタジアムで野球観戦をしました。今年のカーブは強いので意気揚々と球場にのりこみました。しかし、7月29日の対横浜DeNA戦、19対3で負けてしまいました。みんなガツカリしていました。子どもたちは立ち直りが早く、帰りのバスの中では楽しそうにおしゃべりをしていたので安心しました。それでも何人かの子どもはカーブの勝つ試合が見えなかったので、かなりへこみました。

当然のことですが、勝者がいれば敗者がいます。何事も負けたと感じる時、悔しくも悲しくも腹が立つことがあります。「煩惱具足の凡夫」といったところでしょうか、心の中が悔しさで大炎上してしまいます。勝ち負けのあることには、負けた者への配慮が必要だと思われ

リオデジャネイロオリンピックでは勝者と敗者がお互いを讃え合う姿が見られました。さらに観戦者もその姿を見て感動し選手を讃えてゆく、こんな世界に遊びを感じられました。勝つても負けてもお互いを認め合うことの出来る世界を、子どもたちと一緒に考えていきたいと思います。



### 中・四国ブロック研修会開催報告

#### 前期指導者学習会

キャンドルづくり

#### 編集長のイチ推し!

ペットボトル×段ボール箱=ピザ作り

子どもの声が聞こえるお寺に

## 2016(平成28)年度 中・四国ブロック 少年連盟指導者研修会

### 山陰教区



7月11日、12日に平成28年度中・四国ブロック少年連盟指導者研修会が開催されました。今年度は山陰教区、米子市で開催され、初日は皆生から車で20分程の境港にある水木しげるロードを歩き、水木しげる記念館に行きました。

水木しげるさんは、大正11年生まれで、戦争に召集され、激戦地で左腕を無くし、終戦後、日本に戻りマンガ家となられた

方です。

記念館には、様々な妖怪たちが展示されており、中にはお化け屋敷のような所もあり、小さな子どもを連れた家族連れの方々も楽しんでおられました。また、水木しげるさんの生涯やその思想を学ぶこともできます。

水木しげるの語録という展示に次のようなものがありました。

「日本の妖怪は誰にも知られず感謝もされないけど、人知れず大切なものを守っているんです」

「人間は脳ミソの範囲でしかモノを見られないが、その範囲以外にも存在しているものは、かなりいるようです」

人間中心主義の現代、合理化の大義名分のもとに弱者が排除されつつあるように感じますが、我々は、今一度立ち止まって、物の見方を再考しなければいけない

安芸教区からの参加者と鬼太郎で記念撮影



のではないかと、記念館で考えさせられました。

二日目は龍谷大学講師の寺本知正先生(大阪教区西成組 極楽寺住職)に「闇の棲家と心」というテーマで御講話をいただきました。

前日の水木しげるロード散策にちなんで、まずは妖怪という存在を「闇」とし、闇とは人間とどこまでも異質なもので、コントロールできないものであり、それは古来より私たちの日常に感覚として存在してきたものであると定義され、次のように話されました。

近代的価値観において私たちの日常にある「闇」をある一つの原理によって説明していきたいという欲求によって、妖怪も人間の様々な感情のあらわれだとある種理知的に分析されてしまった。

しかし、現代においても根源的に全てのものに魂が宿るという宗教論(「アニミズム」や呪物崇拜(「フエティシズム」)は存在するものであり、人々は無意識のうちにその中で

はないだろうか。

例えば、若者特有の文化である、「勝負服」「ヤマンバギャル」や「入れ墨」など、これらも何か通常とは違う力を持ったものを欲求する一つの呪物信仰の現れとして考えることもできる。そして「闇」と定義される異界と人間界を繋ぐのはそれぞれの領域における「儀礼」や「言葉の力」であり、人類はそこに人間を超えたものの働きを感じてきた歴史がある。

だからこそ、浄土真宗の教義に照らし合わせて誤解を生む表現とならないよう常に留意しつつではあるが、言葉や儀礼が持つ力、また「闇」を感じる存在としての妖怪を恐れる心を大切にしていかなければならないと結論づけられました。

今回の研修は妖怪ゆかりの地を通して、妖怪をより身近に理解することができ、また少年教化活動において子どもへどのようにお念仏を伝えていくか、そのアプローチについて「闇」という新たな視点をいただきました。



前期指導者学習会

## キャンドルづくり（蠟燭工芸）



チエミサラ先生より優しく分かりやすく教わりました



溶かしたロウと顔料を紙コップで混ぜ合わせ、四角い箱に入れます



検索 チエミサラ

2016年6月14日(火)、本願寺広島別院安芸門徒会館「共命ホール」において、前期指導者学習会を行いました。今回は、キャンドル作家のチエミサラ先生にお越しいただき、参加者全員で楽しくキャンドルを作りました。

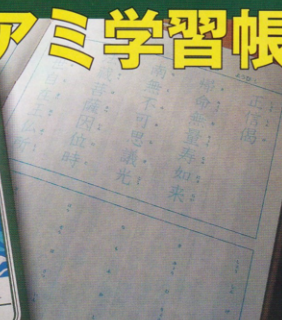
初めに、正方形のブロックキャンドル作りに挑戦です。作りたい色の顔料の粉、溶かしたロウを紙コップに入れ、割りばしで混ぜ合わせます。色が混ざり合ったら、固まりやすくするために、パウダー状のワックス（ロウ）を入れてさらに混ぜます。液状からゼリー状になったら、四角い紙の箱に入れていきます。いろいろな色のロウを入れたり、模様をつけることもできます。蠟燭の芯（ロウを塗った風糸）を真ん中に差し込んで完成です。

次に牛乳パックを使って大きなランタンを作りました。先ほどと同じ要領で色のついたロウを作り、牛乳パックの内側に貼り付けていきます。中央部分を空洞しておけばランタンになりますし、全部にロウを入れると、大きなキャンドルができます。ロウが乾いて固まったら、パックに切れ目を入れて、破りながら剥がしていくと、きれいなキャンドルが出てきます。

先生は、キャンドル作りをしていると、自然にその場にいる人が会話をして、仲良くなることができるので、是非お寺でもキャンドル作りや灯りを使ったイベントをしていただきたい。そして、お寺に人が集まり、楽しんで過ごせる場所になってほしいと仰っていました。

## ナモアミ学習帳

ナモアミ学習帳



## 書いて味わう写経ノート らいはいのうた 正信偈

- ・大人も子どもも使える写経ノート
- ・\*初めはお手本をなぞって書きます
- ・\*次は自分で書いてみます
- ・ご門徒の皆様にも喜ばれています

安芸教区少年連盟（本願寺広島別院内）にて頒布

200円

# ペットボトル×段ボール箱＝ピザ作りに挑戦

このページでは、お出かけスポットや旬な話題など、子ども会の活動に役立てていただける情報をご紹介します。

今回は、ペットボトルを使った「おもしろピザ作り」です。

ペットボトルに生地材料とぬるま湯を入れ、ペットボトルをひたすら振り続けるとピザの生地ができて上がります。ペットボトルから出て来た生地を伸ばし、形を整えます。ピザソースやマヨネーズをベースに、ウィンナーやコーンなどの具材とチーズを乗せます。完成したピザは、オーブンで焼きます。

特別なピザ釜や大きなオーブンがなくても大丈夫です。段ボール箱にアルミ箔を貼って作った即席オーブンに入れ、待つこと約10分。アツアツのピザが完成しました。

ピザの生地作りから、オーブンの製作まで、子どもから大人まで楽しめるピザ作りでした。



**1** 500mlのペットボトルに、ピザ生地の材料とぬるま湯を入れて、約20～30分振り続けます。体温で発酵が進み、生地が膨らんできます。



**2** ペットボトルの中で発酵し膨らんだ生地は、蓋を開けると、勢い良く出てきます。中に残った生地は、ペットボトルを切って取り出します。



**3** 出てきた生地は、両手で握って形を整え、丸く平らに伸ばします。好きなソースと具材とチーズをのせます。



**4** 段ボール箱の内側にアルミ箔をのりで貼り、網を取り付けます。底に炭火を入れると、段ボールオーブンができあがります。段ボールオーブンの中にピザを入れて、約10分でおいしいピザが焼き上がります。



必要な物  
ペットボトル (500ml、炭酸飲料用)

生地 (ペットボトル1本分)  
強力粉 110g  
ドライイースト 5g  
砂糖 6g  
塩 ふたつまみ  
ぬるま湯 (または水) 70cc  
サラダ油 小さじ2

トッピング例

ピザソース  
玉ねぎ  
ピーマン  
ウィンナー  
ハム  
チーズ  
マヨネーズ  
玉ねぎ  
コーン  
サーモン  
ツナ

好きな具材をトッピングしてください



## ほととぎす遊園キャンプ場

今回の取材は、安芸高田市美土里町にあるほととぎす遊園キャンプ場で行いました。テントやバンガローでのキャンプや、地元の食材を使ったバーベキューも楽しめます。

水遊びのできる小川が流れていたり、木でできたアスレチックなど、子どもが遊ぶことのできる施設があります。

検索 ほととぎす遊園

所在地 〒731-0611 広島県安芸高田市美土里町横田 2546

電話番号 0826-54-0180

利用料金 入園料1人(4歳以上) 2,000円

バンガロー(1棟) シャワー・トイレ付12,000円

シャワー・トイレ無 7,000円

テント(1張1泊) 7,000円

ホームページ <http://akitakata-kankou.jp/>

